

自然環境整備計画の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	広島県	個別地域	西中国山地国定公園(三段峡地域)
-------	-----	------	------------------

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度
------	---------------------

目標

三段峡内歩道の安全を確保し、利用者の利便性を向上させる。

目標設定の根拠

個別地域の現状

周囲に恐羅漢山、深入山、等の優れた景観を誇る山岳景観の間に見られる三段峡等の美しい渓谷を楽しむために整備された、長淵～黒淵～水梨までの約6kmのコース。水梨～霞ヶ原を経由し、二段滝や三段滝などの景勝地へいたるそれぞれ約1km強のコース。さらに三段滝をすぎ、餅ノ木を経由して聖湖にいたる約4kmのコース。また、二段滝をすぎ、横川口へいたる1km弱のコースは、そのまま牛小屋高原や恐羅漢山へつらなる。これらのコースにより、春の新緑から秋の紅葉までの自然を満喫することができる。

課題

歩道上下の地形はほぼ岩盤を掘削して形成した歩道であり、これをコンクリートや木材を使用した橋梁でつないである。地質は長年の木の生長や風化によって非常にもろくなっており、急峻な地形とあいまって、常に歩道上に倒木や落石を発生させている。利用者にとっては危険性が高く、毎年の修繕を余儀なくされている。また、長大な延長をもつため、利用者の利便性を増す施設やサイン工を整備する。

個別地域の整備方針

方針に沿った主要な事業

歩道上下の地形はほぼ岩盤を掘削して形成した歩道であり、これをコンクリートや木材を使用した橋梁でつないである。地質は長年の木の生長や風化によって非常にもろくなっており、急峻な地形とあいまって、常に歩道上に倒木や落石を発生させている。利用者にとっては危険性が高く、毎年の修繕を余儀なくされている。また、長大な延長をもつため、利用者の利便性を増す施設やサイン工を整備する。

岩着工・コンクリート路面工・練石積工・コンクリート橋梁工・フンかご工・トイレ設置工・サイン工等

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
						基準年度	目標年度	目標年度
利用者数	人/年	三段峡の利用者数	利用状況調査	三段峡施設整備による利用促進の指標とし、現行より5%程度の利用者の増加を目指す。	131,400	H25	137,970	H30

その他必要な事項